



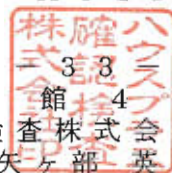
試験結果は以下のとおりであることを証明する。
平成26年1月31日

接合部性能試験成績証

受付日：平成25年12月19日

受付番号：HP13-KT132

東京都港区芝5丁目3番8号
徳栄ビル本館4階
ハウスプラス確認検査株式会社
代表取締役社長 矢部 英夫



1. 接合金物名称	リフォーム用羽子板セット
2. 試験依頼者	株式会社 タナカ 〒300-4111 茨城県土浦市大畑702-1
3. 目的	当該接合金物を用いた接合部の短期基準接合耐力(引張)を評価する。
4. 試験内容	柱頭柱脚接合部(中柱型)の引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は、ハウスプラス確認検査株式会社制定「木造建築構造試験事業における接合部性能試験業務方法書(平成21年4月1日制定)」による。
5. 試験体仕様	1) 接合金物 『リフォーム用羽子板セット』 「W羽根Uビスタイプ」 材 質: SPHC(JIS G 3131^{*1}) 寸 法: 40mm×52.7mm×100mm (外形) 板厚t=4.5mm、t=3.2mm 接合具用孔 4-φ6mm 表面処理: Ep-Fe/Zn 8/CM2 C (JIS H 8610^{*2}及びJIS H 8625^{*3}) 「オメガ丸座金70」 材 質: 以下の化学成分を満足する炭素鋼 C:0.18~0.23% Mn:0.30~0.60% P:0.030%以下 S:0.050%以下 寸 法: φ70mm×35mm(外形) M12 板厚t=6mm 接合具用孔 3-φ8mm 表面処理: Ep-Fe/Zn 8/CM2 C (JIS H 8610^{*2}及びJIS H 8625^{*3}) 「六角ボルトM12-110」 材 質: 強度区分4.6を満たす炭素鋼(JIS B 1180^{*2}) 寸 法: M12 φ10.6 L=110mm 表面処理: Ep-Fe/Zn 8/CM2 C (JIS H 8610^{*2}及びJIS H 8625^{*3}) 「M12用平ワッシャー」 材 質: SPHC(JIS G 3131^{*1}) 寸 法: φ26mm(内径φ13mm) 板厚t=2.3mm 表面処理: Ep-Fe/Zn 8/CM2 C (JIS H 8610^{*2}及びJIS H 8625^{*3}) 2) 接合具 W羽根Uビスタイプ用: 「木ねじ TBA-65」 4本 材 質: 以下の化学成分を満足する炭素鋼 C:0.18~0.23% Mn:0.70~1.00% P:0.030%以下 S:0.050%以下 寸 法: ねじ部φ6mm×L65mm 頭部φ9.3mm 表面処理: エコートWH^{*4}処理 オメガ丸座金70用: 「木ねじ TBB-75」 3本 材 質: 以下の化学成分を満足する炭素鋼 C:0.18~0.23% Mn:0.70~1.00% P:0.030%以下 S:0.050%以下 寸 法: ねじ部φ7.2mm×L75mm 頭部φ10.8mm 表面処理: エコートWH^{*4}処理 3) 軸組材料 柱: 105mm×105mm×600mm スギ 無等級材 含水率:9.0~11.5% 全乾密度:0.37~0.43g/cm³ 横架材: 105mm×105mm×1000mm スギ 無等級材 含水率:9.0~11.0% 全乾密度:0.37~0.40g/cm³ *1 JIS G 3131 熱間圧延軟鋼板及び鋼帯 *2 JIS H 8610 電気亜鉛めっき *3 JIS H 8625 電気亜鉛めっき及び電気カドミウムめっき上のクロメート皮膜 *4 エコートWHは、NOPメタルコーティングス株式会社の登録商標
6. 試験条件等	試験体は接合部を実状に合わせた仕様としている。 「W羽根Uビスタイプ」と「オメガ丸座金70」は「六角ボルトM12-110」を用いて手締めにてとめつけた。 試験体は、柱芯から横架材両木口側400mmの位置でM12六角ボルト・ナット及び角座金W4.5×40を用い、鉄骨架台と緊結した(締付トルク管理値:20N・m)。
7. 試験結果	短期基準接合耐力 11.9 kN (詳細については接合部性能試験報告書に示す)
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜試験研究センター:神奈川県横浜市鶴見区元宮1-12-24
9. 試験実施日	平成25年12月24日
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 家納 吾郎 道場 信義 千葉 博 加川 啓介 土屋 江利佳

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。